

経尿道的尿管ステント術を受ける方の入院診療計画書

主治医 _____ 入院日： ____ 月 ____ 日

様 受持看護師 _____ 病棟： ____ 棟 ____ 階 病棟責任者 _____

病状説明：尿管の通過障害があり水腎症になっています。 疼痛や発熱の原因と考えられます。 入院期間は約4日間の予定です。				退院基準：血尿がスケール2以下である。 麻酔の影響(頭痛や嘔気)がない。 自己排尿がある。			
検査 治療 処置	外来	入院当日(/)	[前] 手術当日(/) [後]	術後1日目(/)	術後2日目(/)	術後3日目(/)	術後4日目～退院
●胸部、腹部レントゲン撮影 ●心電図検査 ●血液検査 	●身長、体重を測定します。 ●リストバンドをつけます。 <input type="checkbox"/> 午前手術の場合は、左手に点滴用の管を夕方に入れます。	<input type="checkbox"/> 午後手術の場合は、10時頃に左手に点滴用の管を入れます。 	●尿の性状を確認します。	●朝6～7時頃採血があります。  ●体温・脈拍・血圧を1日3回測ります。	●尿が出にくいときは、管で尿をとります。 ●体温・脈拍・血圧を1日1回測ります。		
薬剤 ●普段内服している薬がありましたらお知らせ下さい。 ●脳梗塞や心臓の病気、血液の病気などで、血液が固まりにくくなる薬などは、必ず申し出て下さい。	●下剤2錠を21時に内服してください。	<input type="checkbox"/> 午前手術の場合は午前7時頃から点滴が始まります。 <input type="checkbox"/> 午後手術の場合は午前10時頃から点滴が始まります。	●抗生剤の点滴を行いません。 ●痛みがある時は痛み止め、熱がある時は解熱剤を使うことがあります。	●抗生剤の内服が始まります。(3日間)			
安静度 リハビリ テーション ●普段通りの生活ができます。		●手術着に着替えた後、歩いて手術室へ行きます。	●ベッド上安静になります。寝返りはできません。 ●お食事のときだけ、ベッドの頭側を上げることができます。	●歩行の許可がでます。(最初は看護師が付き添います)	●病院内歩行できます。		
排泄		●排便がなければ朝7時頃に洗腸をします。	●尿管が入ります。		●血尿が薄くなれば、尿道の管を抜きます。	●尿管を抜いた後、排尿日誌をつけてもらいます。	
清潔 ●入浴できます。	●シャワーをしてください。	●朝、洗面・歯磨きをして下さい 男性はヒゲを剃って下さい。 ●油分の多いクリームをつけたり、マニキュアや化粧は止めて下さい。 ●時計・指輪等のアクセサリー、入歯、かつら等外せるものは外して下さい。		●体を拭き、パジャマに着替えます。			
食事 栄養管理 ●普通食が食べられます。	●食事は、夕食まで食べられます。 ●特別な栄養管理(有 無)	●水分(お水やお茶)は午前6時までは、飲めます。それ以降は飲まないで下さい。	●掃室後、全身状態が落ち着いていれば、2時間後より水分・食事をとることができます。				●退院指導書をお渡します。 ●退院後の生活についての説明があります。(医師・看護師) ●必要時、薬剤師より薬の説明があります。 ●手術後の経過と手術時に提出した検査の結果をお話します(医師) ※後日外来での説明になることもあります。
説明 指導 教育 <手術に必要な物品> <input type="checkbox"/> コップと曲がるストロー <input type="checkbox"/> 入歯入れ(必要時)	●病棟の案内をします。 ●手術前後の経過について説明します。(看護師) ●手術室看護師の訪問があります。 ●薬剤師の訪問があります。 ●眠れない時は、看護師にお知らせください。	●手術室に行く前に排尿を済ませて下さい。 ※手術室に入室する時刻(____ 時 ____ 分の予定) ※手術中、ご家族はA棟5階の食堂でお待ち下さい。(個室の方は個室でお待ち下さい。)	●ご家族の方へ主治医から手術結果の説明があります。 	●麻酔の影響で吐気・頭痛が起こる事があります。安静臥床で緩和します。水分を多めに摂るようにしましょう。 	●尿道の管が抜けた後、しばらくは血尿や排尿時痛などがあります。水分を十分とりましょう。		

上記内容について説明を受けました。

お名前

(署名)

平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日 / 説明した看護師： _____

京都桂病院 泌尿器科 2013.12.27 Ver.3-1